

様式2の付表

○事業を実施した結果、教育的効果（生徒の取組み等）の状況

1 事業を実施した結果

- ・梨棚の引線締め直しおよび引き直し



図1 断裂した引線



図2 緩みが見られる引線

実施前の梨棚は引線が切れた部分を折り、応急的に対処しているだけだった（図1、図2）。また、引線の緩みは棚全体が下がる要因であることも理解できた。



図3 新しい引き線



図4 専用工具による引き直し

切れた引線は新しいものを引き直した（図3）。また、専用工具で緩みを直した。その結果、棚が引き締められ、棚が上がったこと安全面や作業効率の向上が期待できた。

- ・ブドウ棚支柱の更新



図5 支柱の劣化（曲がり）



図6 支柱の沈み込み

ブドウ棚の支柱は曲がりや沈み込みが見られ、棚が下がる要因となっていた（図5、図6）。曲がった支柱は交換、沈み込んだ支柱は埋まっている受石を掘り出し、新たに適正な高さで埋め直した（図7、図8）。



図7 掘り出した受石の設置



図8 更新した支柱

2 教育的効果（生徒の取組み等）の状況

・生徒は棚が下がって作業がしにくく、安全面でも不安を抱えていたが、今回の事業でその原因を考え、自らの手で整美することで問題解決ができた。また、栽培棚の修繕のやり方等学ぶことができた。果樹農家や就農を希望する生徒達は、専門業者に頼らずとも、自分自身の手である程度の修繕ができることを学べた。また、それにより作業の安全性が確保できることを知ることができた。